

サブスタ SBSTTA25 における愛知県の活動報告及び今後の国際連携の取組について

愛知県は、世界の先進的な広域自治体8団体とともに「世界目標達成に向けた国際先進広域自治体連合（GoLS）」を組織し、多様な主体の連携や世界の自治体による取組の活性化の重要性について、国際会議等で発信してきた。

昨年10月にケニア共和国の首都ナイロビで開催された生物多様性条約COP第25回補助機関会合（SBSTTA25）へ参加した。現地では、世界の自治体グループを代表して声明を発表したほか、生物多様性条約事務局長代理（事務局長は現在空席）と面談し、「愛知目標」の次の目標としてCOP15で採択された「昆明・モンリオール生物多様性枠組」達成における自治体の重要性を述べ、自治体への継続的な支援を要請した。

1 SBSTTA25 開催概要

- (1) 開催期間 2023年10月15日（日）から19日（木）まで
- (2) 開催場所 ケニア共和国・ナイロビ 国際連合アフリカ本部
- (3) 主な議題 昆明・モンリオール生物多様性枠組の実施とモニタリングの促進について、生物多様性と気候変動について など

2 現地での活動報告

(1) 本会議での声明発表

初日の全体会合において、「生物多様性の保全に係る自治体の重要性について再認識されたことに感謝し、生物多様性の損失を防ぐため、これまで培われた知識と政策手段を用いて早急に対応する必要があること」などを、自治体グループを代表して発言した。

本県の声明発表の様子については、生物多様性条約事務局や国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）の公式ウェブサイトで取り上げられている。

(2) 生物多様性条約事務局長代理との面談

生物多様性条約事務局長代理（事務局長は現在空席）のデイビッド・クーパー氏と面談し、新世界目標である「昆明・モンリオール生物多様性枠組」の達成に向けて貢献していく決意を記したGoLS代表の愛知県知事名の親書を手渡した。

面談では、新世界目標達成に向けた自治体の重要性をアピールし、自治体への継続的な支援を要請したほか、世界的な産業集積地である愛知県独自の取組である「あいち生物多様性企業認証制度」を紹介し、新世界目標への貢献を目指していることを説明した。

クーパー事務局長代理からは、あらゆる企業活動は生物多様性に依存し、影響を与えていることを広く知ってもらい、新世界目標の達成を推進してほしいこと、愛知県のような広域自治体は、枠組の全ターゲットに関係しており、引き続き注力いただきたいとの言葉をいただいた。

今回の面談の様子は、事務局長代理のX（旧ツイッター）にも掲載されている。

3 今後の取組

2024年にコロンビアで開催予定のCOP16に向けて、オンライン会議等を通じて、GoLSメンバーや関係国際機関等と引き続き連携を深め、国際的なプラットフォームを活用しながら率先して取組を進めていく。

SBSTTA25 での活動の様子



本会議での声明発表

事務局長代理との面談



事務局長代理のX(旧Twitter)

《参考》 GoLS について

2016年、愛知県が世界の先進的な広域自治体に呼びかけ設立した自治体連合。これまで、メンバーや支援組織とともに、先駆的取組に関する知識・経験の共有のほか、COPや補助機関会合等の機会を通じて、生物多様性の主流化や、地方自治体を含む多様な主体の連携の重要性について、働きかけを行ってきた。

<GoLS メンバー（2024年2月現在）>

愛知県（日本）、メキシコ州政府連合（メキシコの全32州）、カンペチェ州（メキシコ）、カタルーニャ州（スペイン）、江原道（韓国）、江蘇省（中国）、オンタリオ州（カナダ）、ケベック州（カナダ）、サンパウロ州（ブラジル）

【協力団体】

生物多様性条約事務局、Regions4、イクレイ